

# ホルス下塗白(F4)

## 合成樹脂調合ペイント用下塗

### 系統

長油性フタル酸樹脂系下塗用塗料  
製品番号 128-301

### 規格

JASS 18 M-304 木部下塗り用調合ペイント  
(油性および合成樹脂)適合

### 特徴

- 1) 木部の目止め、吸い込み止めの効果がある。
- 2) ハケ目が少なく、仕上りが良好である。
- 3) ハケ塗りのほかに、ローラー塗り・スプレー塗りもできる。
- 4) F☆☆☆☆
- 5) 鉛・クロムフリー

### 塗料性状

項	目	内	容
1	荷	姿	18kg
2	混	合	比
3	色		白
4	艶		無し
5	仕	上	が
6	塗	料	比
7	溶	剤	比
8	加	熱	残
9	劇	物	表示(品名・含有量)
10	労	安	法上の表示有害物
11	使	用	有機溶剤種別
12	消	防	法による危険物区分

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

### 塗装条件

塗装時の条件	ハケ	ローラー	エアレススプレー
塗装方法	○	○	○
希釈率	0~10%	0~10%	0~10%
標準所要量 g / m <sup>2</sup> / 回	120	120	150
シンナー名	塗料用 シンナーA	塗料用 シンナーA	塗料用 シンナーA

注) 標準所要量は個々の条件によって異なります。  
標準所要量は塗装作業に必要な使用量の数値です。  
数値は下限と上限の平均的な中心値です。

### 乾燥時間 塗装間隔 使用制限

項目	温度	23℃
乾燥時間	指触	1時間
	半硬化	4時間
標準塗装間隔 (注)	最短	16時間
	最長	7日
使用制限		—

注) 同じ塗料または同系統の塗料を塗り重ねる場合です。

### 適用素材

木、鉄

### 適用上塗塗料

SDホルスF4、パワーホルスF4、  
カンペ1液MレタンHG、セラMレタン など

### 使用上の注意事項

- 1) 使用前に均一にかきまぜてからご使用下さい。
- 2) ハケ目をできるだけ目立たないようにするために、流展性をよくしています。  
ハケ塗り塗装に際しては、タレないようにムラ切りして“ていねい”に塗装するよう注意をお願いします。

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

#### 予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

#### 対応

- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

#### 保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

#### 廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

#### 施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。